

青森県におけるスマート農業技術の 開発・実装に向けた取組



令和7年12月16日 スマート農業推進フォーラム2025 in 東北
青森県農林水産部 農林水産政策課 主査 工藤 貴仁

普及上の課題

1 ハード面

- スマート農業機械の導入コストの低減
- 通信環境などのインフラ整備

2 ソフト面

- スマート農業機械の体系的な活用
- 関係者のデジタルリテラシーの向上
- 経営分析を踏まえたスマート農業機械への投資の検討

課題解決に向けた取組

- 「農林水産業が持続的に発展する社会」の実現に向けて、具体的な取組をまとめた政策パッケージを策定（R6.3）
- 特に重点的に取り組む内容を「プロジェクト」として設定

青森新時代「農林水産力」強化パッケージ

プロジェクト	目標	取組
青森「農業DX」の実現	スマート農業機械の導入台数 R4：1,683台 ⇒ R10：3,000台	<ul style="list-style-type: none">• スマート農業機械の導入支援• 本県に適したあおもり「農業DX」の実証• 農業デジタル人財の確保・育成
所得向上プログラムの実践	1経営体当たりの生産農業所得 R5：488万円 ⇒ R10：625万円	<ul style="list-style-type: none">• 農業者の経営分析・経営改善指導等の指導体制の強化• 所得向上プログラムの実践支援
スマート農業にも対応した基盤整備の推進	水田整備面積 R5：53,966ha ⇒ R10：54,966ha	<ul style="list-style-type: none">• スマート農業の実装を可能とする基盤整備の推進

国の臨時交付金を活用したスマート農業機械等の導入支援

農林水産関連物価高騰等対策事業（R5）

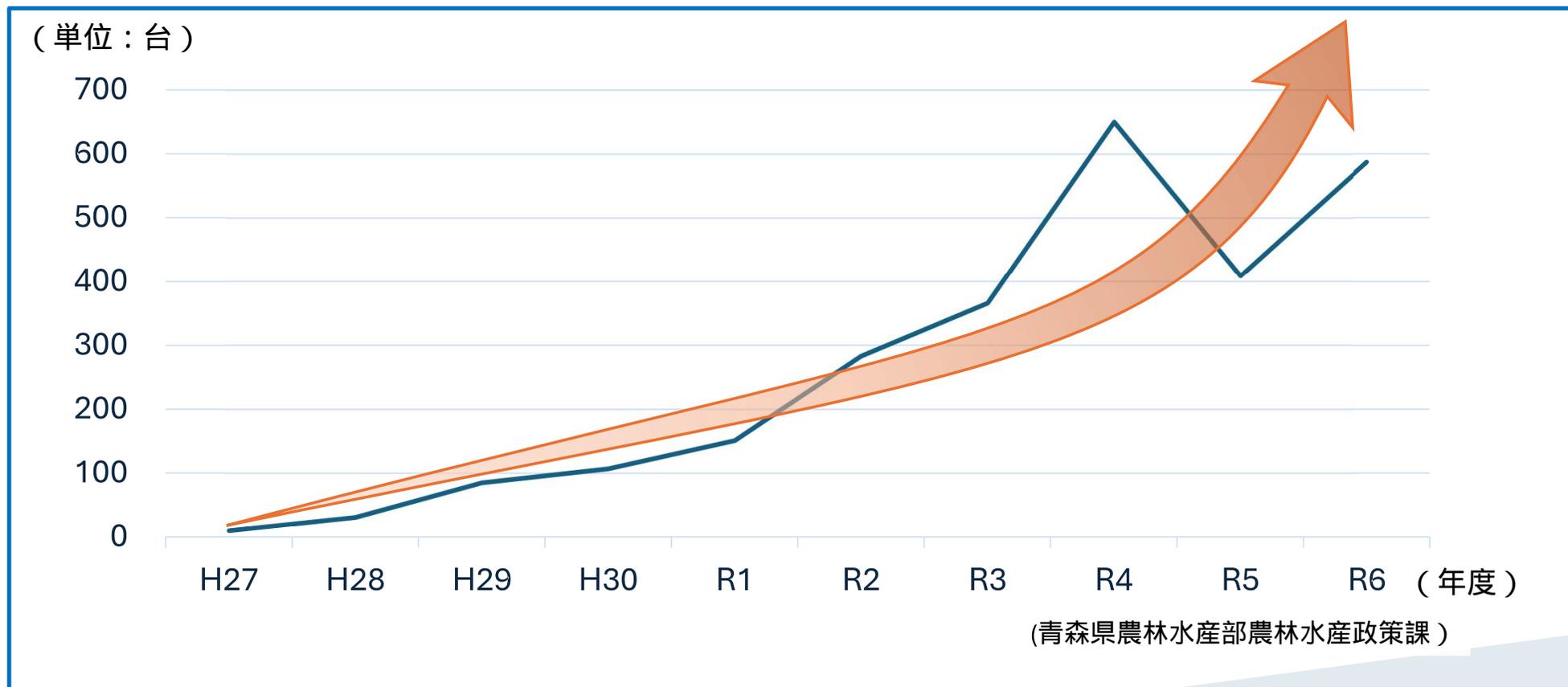
（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

青森県物価高騰対応「スマート農業機械」導入促進事業（R6）

（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

⇒R5～R6年度で、約700経営体に約36億円の支援

青森県におけるスマート農機の販売台数



⇒スマート農機の導入状況は年々上昇傾向

R 6 は10月末までの実績、主要メーカーからの聞き取りによる

あおもり「農業DX」推進事業（R6～R8）

あおもり「農業DX」の実証

「経営・生産管理システムとスマート農業機械を活用した大豆等の労働時間の削減」など、複数のスマート農業技術等を組み合わせた、本県に適した「農業DX」のモデル実証



農業デジタル人材の確保・育成

- 普及指導員を対象に、農業先進地視察を実施（R6:オランダ R7:ドイツ）
- 視察結果を研修会等で農業者等に広く周知



所得向上プログラム実践支援事業（R7）

- スマート農業機械を導入したものの、その性能をフルに活用できず、結果的に過剰投資になっている事例が散見
- 令和7年度からは、農業者が新たに挑戦する、**生産性の向上などの取組に必要な機械の導入等、ソフト・ハード両面から支援**
- 実施に当たっては、**所得向上のモデルを創出**するため、国の農業経営診断システムを活用するなど、**普及指導員が、技術・経営指導等の伴走支援**を実施

< 取組事例 >

- 可変施肥対応田植機の導入による収量・品質の向上
- 食味・収量センサー付きコンバインの導入による高品質安定生産
- ロボットトラクターの導入による規模拡大